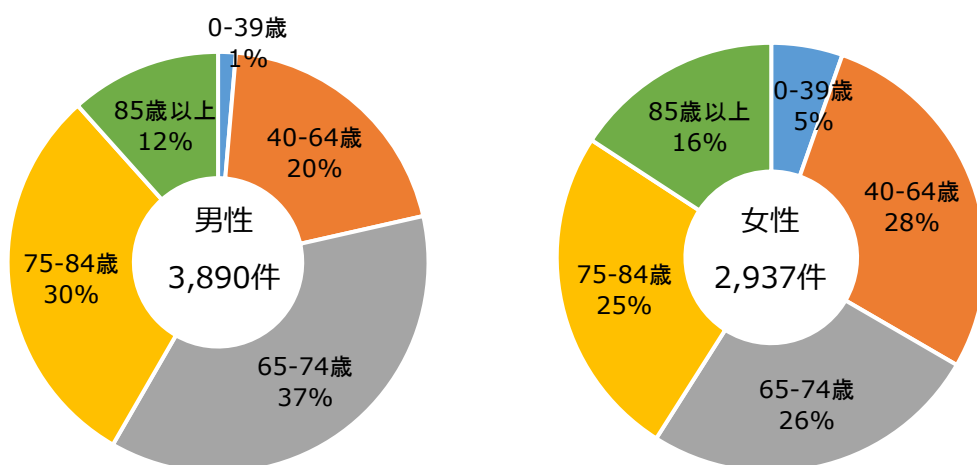


院内がん登録から見た鳥取県のがん罹患の現状（2017年）

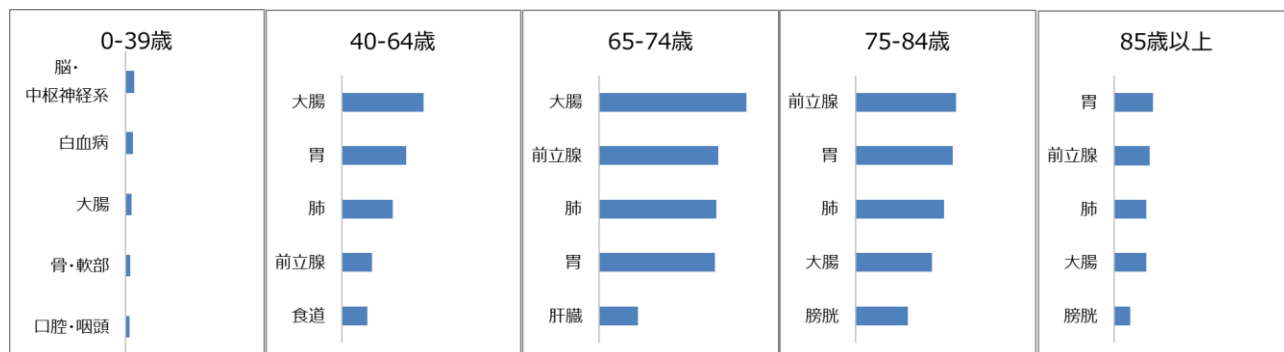
年齢区分別には、男性では、65～74歳代にピークが見られる。女性では、40～64歳代が最も多く、次いで65～74歳代、75～84歳代の順に多い。65歳以上の高齢者の割合は、男性が79%、女性が67%を占めます。

部位別には、0～39歳代の男性では、多い順に脳・中枢神経系、白血病、女性では、子宮、乳房、40～64歳代の男性では、大腸、胃、女性では、乳房、子宮、65～74歳代の男性では、大腸、前立腺、肺、胃、女性では、乳房、大腸、75～84歳代の男性では前立腺、胃、肺、大腸、女性では、大腸、乳房、胃、肺、85歳以上では、男性は胃、前立腺、肺、大腸、女性は大腸、胃となります。

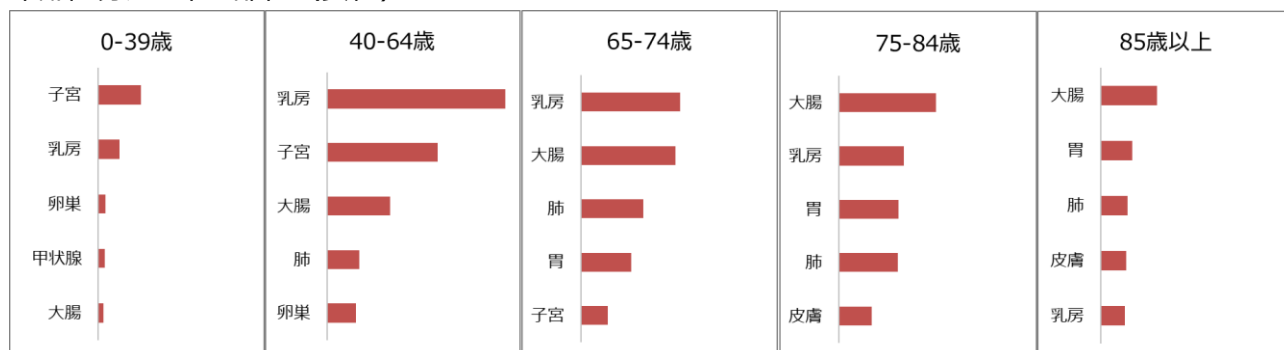
年齢階級別登録割合



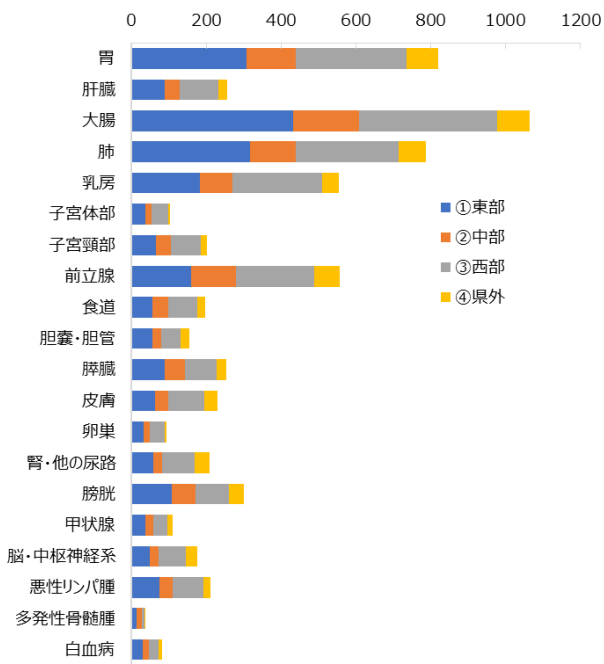
年齢区分別上位5部位（男性）



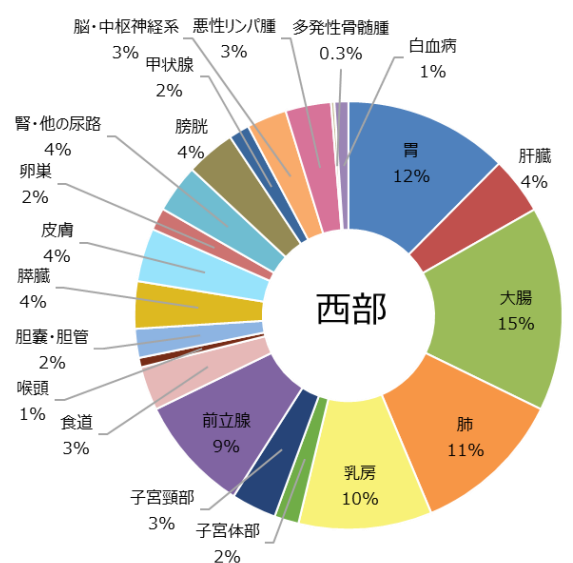
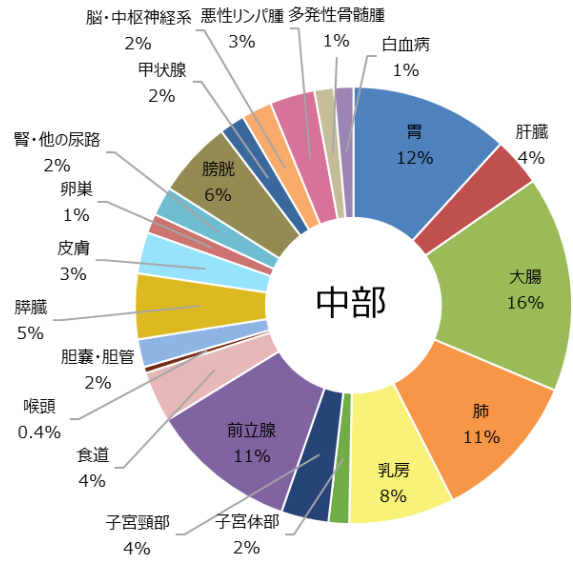
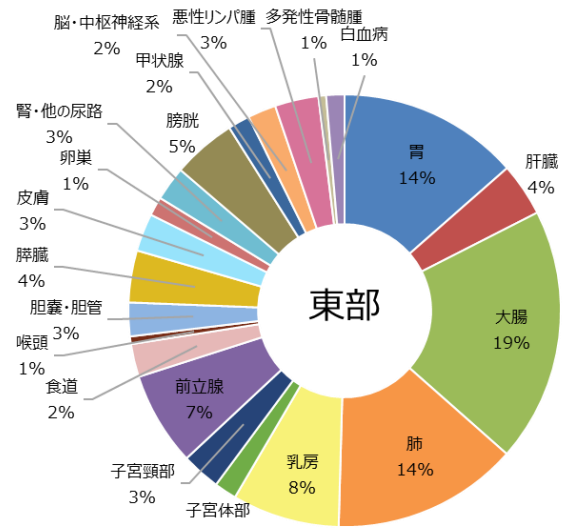
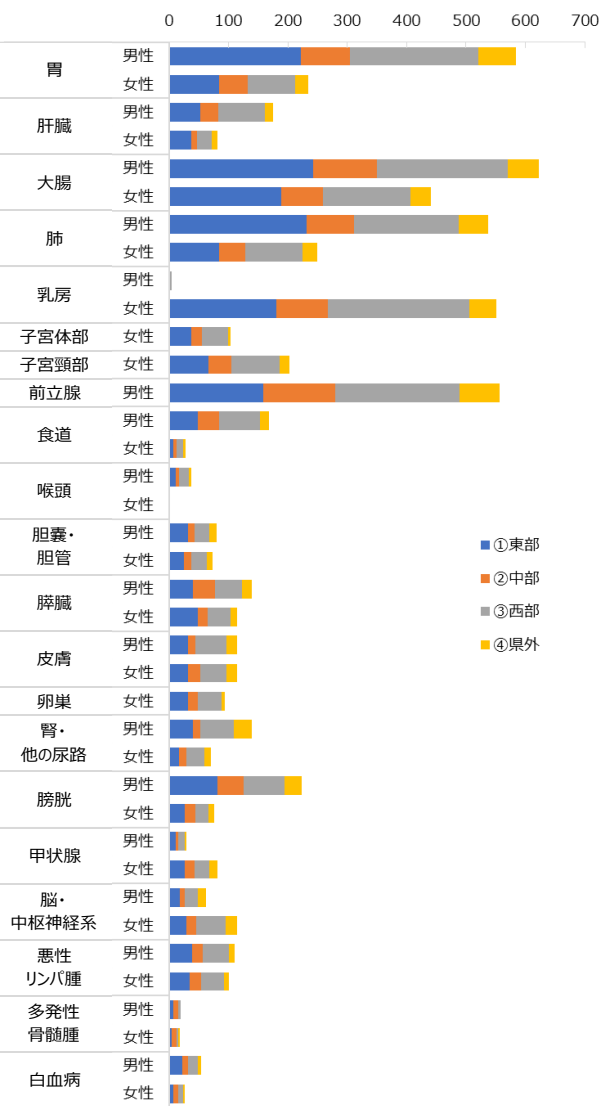
年齢区分別上位5部位（女性）



住所地別分布 男女計



住所地別分布



来院経路

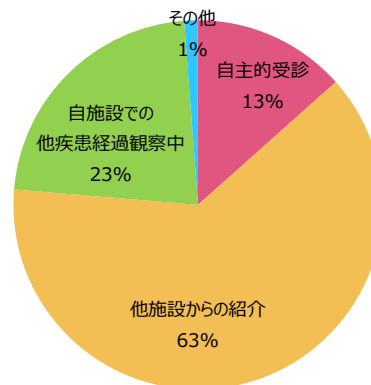
来院経路別には、「他施設からの紹介」が6割強を占めて最も多く、次いで「自施設での他疾患経過観察中」が23%、「自主的受診」は13%と少ない。

全国比較では、「自主的受診」は全国より多く、「他施設からの紹介」は全国より少ない。

施設別には、「自主的受診」は博愛病院で最も多く、「他施設からの紹介」は鳥取大学医学部附属病院で最も多い。

部位別には、「自主的受診」は乳房が最も多く、「他施設からの紹介」は前立腺が最も多い。

来院経路別登録割合（鳥取県）



発見経緯

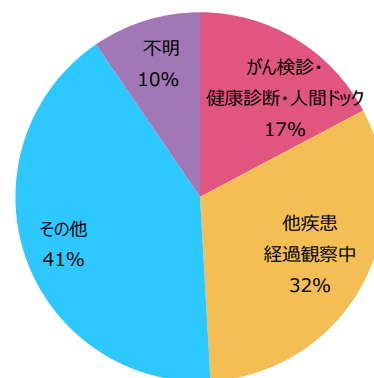
発見経緯別には、「他疾患経過観察中」が32%で最も多く、「がん検診・健康診断・人間ドック」は17%と少ない。

なお、「その他」と「不明」で半数を占めるので、実際にはそれ以上の割合になることが予測される。

全国比較では、「がん検診・健康診断・人間ドック」は、鳥取県が全国より2.5%多く、施設別には博愛病院が最も多い。

部位別には、「がん検診・健康診断・人間ドック」は子宮頸部36.8%、胃31.9%、大腸24.6%、乳房24.6%、前立腺22.9%の順で多く、「他疾患経過観察中」は肝臓が61.4%と最も多い。

発見経緯別登録割合（鳥取県）



ステージ分布（部位別、全体）

治療前では、ほとんどの部位でⅠ期が最も多く、その割合は全国、鳥取県ともに2～8割を占め、子宮体部と胃が最も多い。Ⅱ期は子宮頸部、Ⅲ期は乳房、前立腺、Ⅳ期は肺が最も多い。

